



「Kくん、朝のしたく早いね」「今から少しでも走ってくるんです。」

それぞれの学年の体育で、一定の速さでの駆け足や持久走に取り組んでいます。それに合わせて、体育委員会主催の「赤白対抗マラソンチャレンジ」週間が始まりました。強制ではありませんから、大好きなブランコに夢中の子どももいる中で、右の写真のように走っている子どもたち。自分の記録を伸ばすために、または、たった1週でもチームに貢献するために、など。胸が熱くなる光景でした。



実施できてよかった ほかほか遠足

3度の延期を経て、ようやく実施できました。お弁当作り、ありがとうございました。

- ・ 来年は私も6年生をまねしていいリーダーになりたい。
- ・ ぼくもめいさんを見習ってがんばりたい。
- ・ りのさんは疲れている子を楽しませるために、しりとりの山の手線ゲームをやってくれた。
- ・ お母さんたちがおいしいお弁当をつくってくれた。

左は、5年生が書いた振り返りの一部です。6年生をサポートしながら、次は自分たちだという覚悟を育てている5年生。下級生はそんな5年生のがんばりもしっかり見ていました。

来年が楽しみです。

実施できてよかった、修学旅行

11月10日(木)11日(金)は、6年生の修学旅行でした。3年目となる富士山・山梨方面への二日間でした。

10月末には5年生の学年閉鎖。複数の陽性者が出たら修学旅行は中止せざるを得ません。祈る思いで当日を迎えました。感染拡大を食い止められたのは、子どもたちの意識と行動、支えてくださった全学年保護者の方のおかげです。



子どもたちは、多くの大人と

出会い、これまで培ってきた良さを発揮することができました。

バターづくり体験では、担当者の説明に、素直で温かい反応を返しながら楽しむ子どもたちの姿に「すてきな子どもさんたちですね。ぼくは今日会えてよかったです。」と最上級の言葉をいただきました。「阿部ちゃん」「のりちゃん」ネイチャーガイドのお二人に対しても同様、質問や会話を通して学び、温かで前向きなかわりと、心からのお礼ができました。河口湖の観光船内では、

小さなお子さんが6年生のそばを離れませんでした。優しくかかわってくれるからです。

互いの違いを尊重し合い、温かく受け止めることができる6年生。

行先の選定では、どの子も主体的にかかわり、仲間と意見をすり合わせ、できるだけみんなが納得できる解を探し続けた結果、世界に一つだけのコースになりました。

ハプニングはありましたが、めあてを達成できたすばらしい二日間でした。

(昨年買いそびれた、カメのぬいぐるみが買ってうれしかった校長 仁平美和子)

